

太古の ロマンを 巡る旅

皆さんは「考古学」と聞いて、どんなイメージを思い浮かべますか？
鹿屋市内にどんな古墳や遺跡があり、発掘調査の結果何が分かってきているのか、人々はどんな暮らしをしていたのか…太古のロマンを探りました。

鹿屋市文化財センター ☎ 0994-31-1167



縄文土器（後期）
串良ふれあいセンター所蔵

鹿屋の地層を 見てみよう！

鹿児島県は、火山由来の堆積物が多く存在します。大まかに示していますが、現在でも学術的に解明されていない地層も存在します。

池田湖火山灰 約 6,400 年前

九州最大の湖である、指宿市の池田湖（池田カルデラ）を形作った大規模噴火。池田湖の湖岸近傍では地層の厚さが 10m 以上の池田シラスが堆積。



鬼界アカホヤ火山灰 約 7,300 年前

竹島と薩摩硫黄島を外輪に持つ海底火山「鬼界カルデラ」から噴出した堆積物。過去 1 万年で世界最大級の噴火で、火砕流が九州南部にまで到達した。縄文時代の早期と前期を分ける層として役立つ。



サツマ火山灰 約 1 万 3,000 年前

桜島の北岳から噴出した火山灰の層。かなり大規模な噴火で、現在の桜島の形を作った噴火と考えられている。



シラス（始良カルデラの 火砕流噴出物） 約 3 万年前



表土

歴史時代

古墳時代

弥生時代

縄文時代 中期～晩期

池田湖火山灰

縄文時代 前期

鬼界アカホヤ火山灰

縄文時代 早期

サツマ火山灰

縄文時代 草創期

旧石器時代

シラス（始良カルデラ）

吾平町上名角之原の地層
串良ふれあいセンター所蔵



▲市内で見られるシラス。約 3 万年前に起きた鹿児島湾北部に位置する始良カルデラの大噴火は、東北地方まで火山灰が到達している

「考古学」とはその功績

「考古学」とは、一般的にはかつての集落や墓などの遺跡と思われる土地を掘り起こし、発掘されたものを調査すること、当時の生活の様子を明らかにする学問です。

日本では、旧石器時代に人間が存在したことを明らかにした「岩宿遺跡」（群馬県）や初めて弥生時代の水田遺構が発見された「登呂遺跡」（静岡県）など、考古学は人間の辿った歴史の実態を明らかにしてきました。

火山灰で年代が分かる

発掘調査を行う上で重要になってくるのが火山灰の存在。地層は下にあるものほど古く、上にあるものほど新しい時代に堆積したものです。火山灰の地層は短時間のうちに広範囲に堆積するため「地層に年代を刻む」役割を持っています。これを利用して、出土品の年代測定を行うことが可能になります。

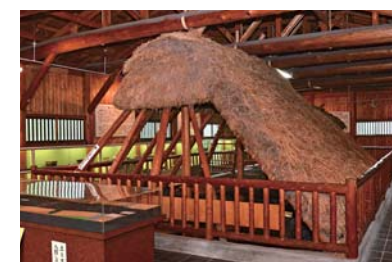
特に鹿児島県は日本でも有数の火山地帯で、古代から現代にかけて多くの火山活動に見舞われてきました。しかし、その火山灰が発掘調査の際の遺跡の年代測定に役立っているのです。

れています。

岡崎古墳群と、県内でも最古級の古墳の可能性がある「名主原遺跡」（吾平町下名）はこれからも発掘調査が行われる予定。大隅の古墳時代の社会体制や、暮らしが明らかにになる発見があるかも知れません。

大隅は古墳の宝庫

古墳時代になると、大隅半島は鹿児島県内でも唯一と言える特徴が現れてきます。古墳時代から「横瀬古墳」（大崎町）や「唐仁大塚1号墳」（東串良町）に代表されるような、巨大な前方後円墳が次々と造られていくのです。鹿屋市も例外ではなく、「岡崎古墳群」（串良町岡崎）では前方後円墳が2基、円墳が9基、地下式横穴墓11基が発見さ



▲王子遺跡資料館（北田町）には、現地から移設復元された竪穴住居や掘立柱建物のほか、弥生時代の生活の様子を想像できる出土品が展示されている

鹿屋の史跡

鹿屋市でも旧石器時代、中世の遺跡は多く見つかっています。特に大きなものは弥生時代の大規模集落跡「王子遺跡」（王子町）で、竪穴建物跡が27基、掘立柱建物跡が12基見つかったほか、弥生土器や石器、鉄製品など様々な出土品が発見されています。